

稲作のノウハウ継承に関するシステムを考える

目 概要

重労働である農業にIT化を導入することで事業の継続性を上げる。

また、農業は経験則に依存する事柄が多いため、ビッグデータを用いて新規参入者でも安定した生産を可能にする。

解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

稲作は品種ごとに栽培方法（肥料のやり方や害虫駆除、病気の対策）が様々あるため、新規参入にハードルがある。

稲作は肉体労働のため加齢に伴って事業の継続が難しくなる。

稲作は天候に依存するため、収入が不安定である。

解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

安定した生産を行うための栽培方法のノウハウをビッグデータから提供する。

重労働部分をロボットで自動化する。

事業の継承・補助をしてもらえる人手をマッチングする。

事業を行うための経験則的な事柄をビッグデータから提供する。

類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

生産を行うためのノウハウデータと天候情報を元に最適な作業をAIが策定する。

必要な作業をロボットを用いることで半・全自動化する。

有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

狭いコミュニティ内で行われる口伝による農産ノウハウの共有に比べて、

利用者が困ったときに情報の検索・コミュニケーションが図れる。

実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

・ノウハウ蓄積のために、ベテランの農家がこれまでの農業経験を共有するスペースを提供する。

提供された農業経験をノウハウのビッグデータとして蓄積する。

・初心者農家がコメ栽培を始めるときに、現在の地域／時期／天候から適切な栽培方法を検索したり、ベテラン農家に質問できる。

・事業継続が難しくなった高齢の農家が、作業を補助してくれる／自身の土地を引き継いでくれる若手を募集することができる。

・コメ栽培中の雑業務（水管理、草刈り、害虫の駆除など）や収穫、出荷をロボットを用いて作業軽減化する。

課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

どのようにしてベテラン農家にノウハウを提供してもらうか？

→サイト内でノウハウを登録する仕組みを検討する。

IT利用が難しい方に対してはノウハウの聞き取りサービスなど別途情報提供方法を設ける。

ノウハウを提供することでどのようなメリットを設けるか？

→ノウハウ提供してもらった際には、金銭や収穫物の現物提供を考える。

また、自身のノウハウで生産されたコメをブランド化できることを検討する。



期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

システム開発費

広告費

初期リリース時点で蓄積しておくノウハウを収集する費用



未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

世代間で生産ノウハウが断絶されることを防ぎ、コメ生産業者の土地や生産知識の継承が行われる。

また、サイトを利用することで日本の農業従事者に若者が増えて、日本の農業が活性化し、

「日本のコメ」が世界に対してブランド化できるようになる。

ひいては、日本のSDGs目標の達成（食糧自給率の向上）につながる。